

# 現地事業の評価(案)

地区名	評価の観点					その他の特徴	
	サービス名称	NWDの作成 及び計測誤差の比較※	施設管理者(道路、鉄道等) との連携	バリア情報、バリアフリー情報を 提供するコンテンツの作成	利用者からの情報 提供が活かせるサービスの運営		多様な位置特定技術の利用
福島 土湯ナビ	<p>【NWDの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長: 6,698m</li> <li>・ノード: 607箇所</li> </ul> <p>【計測精度の比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較評価ノード数: 24箇所</li> <li>・計測誤差: 0.433m</li> </ul>	<p>【交通事業者との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行情報の案内</li> <li>・公共交通機関(協議会構成員)の協力</li> <li>・JR福島駅の土湯温泉行きバス停情報及び地区内の6カ所のバス停の位置情報、発車時刻情報を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NWD上のバリア情報を活用し、歩行注意箇所を地図上に表示</li> <li>・さらに、バリアの程度を動画により説明</li> <li>・利用者の実感に即したNWDのコンテンツづくり</li> </ul>		<p>【Wi-Fiを活用した位置特定精度の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のフリーWi-Fi構想の一部として地域が用意した4箇所のアクセスポイントを測位精度の向上に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市再生整備計画事業(旧:まちづくり交付金)(ソフト事業)」に位置付け、今後3~4年間の運営費を確保する方針(市への働きかけ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が多い観光イラストマップと連動した経路案内も提供</li> </ul>
狛江 ココシルこまえ	<p>【NWDの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長: 16,649m</li> <li>・ノード: 689箇所</li> </ul> <p>(こまえバスルートを除く延長、ノード数)</p> <p>【計測精度の比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較評価ノード数: 34箇所</li> <li>・計測誤差: 1.534m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狛バスのバス停38カ所にucodeNFCタグプレートを設置</li> <li>・バスの時刻表、運行情報の提供</li> <li>・バス内では降車バス停の情報を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意情報として、バリア情報をテキスト又は音声で提供</li> </ul>	<p>施設からの新着情報や利用者からの口コミなど、動的な情報を発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンもしくはタブレット端末にて、GPS、Wi-Fi、ICタグにより位置情報を認識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働の新しいモデルとして、次年度以降の事業計画を運営委員会(NPO等の市民団体の代表者等を含む組織)を中心に検討。</li> </ul>	<p>【コミュニティバスの利用増進に資する歩行者移動支援サービスのあり方】</p> <p>NFCタグの読み取りによりバスの運行状況や時刻表がわかり、移動時間の短縮につながる可能性あり</p> <p>【ツアー機能】</p> <p>市内の歴史スポット等を巡るツアーをシステム内に構築。利用者の位置情報を取得し、これに応じたナビゲーションを提供</p> <p>【コンテンツ連携】</p> <p>市の内部部局のHPとの連携</p>
下田 下田に行こう	<p>【NWDの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長: 6,761m</li> <li>・ノード: 252箇所</li> </ul> <p>【計測精度の比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較評価ノード数: 11箇所</li> <li>・計測誤差: 1.660m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部HPへのリンク集を用意し、地域情報や交通情報が集まったポータルとして活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス運営者のデータ更新作業を効率化するため、ブログ感覚で簡単にコンテンツを追加編集出来るWEBシステム(CMS)を作成</li> </ul>	<p>FacebookおよびTwitterとの連携によるSNS活用</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下田市役所と連携を図り、防災面で市の情報との連動を検討</li> <li>・伊豆地域のユニバーサルツーリズム事業関係者と連携を促進し、地域全体の競争力強化に向けて展開</li> </ul>	<p>【住民参加によるNWD作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所・住民・社会福祉協議会等と協働し、官民連携型・市民参加型でNWDの現地調査を実施</li> </ul> <p>【防災情報の提供に向けた課題の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難ビルへの誘導案内を提供するツールへの拡充を計画</li> </ul>
豊岡 出石かもんナビ	<p>【NWDの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長: 7,621m</li> <li>・ノード: 197箇所</li> </ul> <p>【計測精度の比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較評価ノード数: 15箇所</li> <li>・計測誤差: 1.538m</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一の地図上に、バリアフリールートと、代替ルートとして観光まち歩きルートを表示。代替ルートを選択した場合のバリア情報は、地図上でアイコンを用いて表示</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子透かしQR、GPS、Wi-Fiを複合的な測位インフラとして、活用</li> <li>・電子透かしQRを読み込むだけで位置を特定し、目的地への経路案内をシンプルかつ直感的に行うことを実現</li> <li>・電子透かしは、家紋をデザインしているため、伝統的な町並みに違和感なく利用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費用は、当面出石観光協会の予算から捻出。既存のパンフレットの印刷費等を削減を図りつつ、システムを活用した情報提供への移行を徐々に進める。</li> <li>・「出石かもんナビ」の普及浸透が進んだ段階で、出石皿そば店舗やおみやげ店等から情報提供料を徴収できるようなビジネスモデルを構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名物の出石皿そば店へのバリアフリー観光支援として、入り口、店内、テーブル、トイレ、サポート対応等のバリアフリー情報を提供</li> </ul>
松江 てくてくナビ てくてくウェブ松江	<p>【NWDの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総延長: 26,325m</li> <li>・ノード: 318箇所</li> </ul> <p>【計測精度の比較】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較評価ノード数: 9箇所</li> <li>・計測誤差: 1.695m</li> </ul>	<p>松江市内を運行するバス事業者(5者)の路線図及びバス停、時刻表等を地図上に重ね合わせ表示</p>	<p>【視覚障害者のための自律移動支援アプリ(てくてくナビ)の開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地までの距離を音声、目的地の方向を端末の向きに対応して振動で情報提供</li> <li>・方向(東、北西など)を、端末のかざした向きに応じて、音声で説明。</li> <li>・現在地の住所を音声によって説明</li> </ul>			<p>【てくてくウェブ(歩行者移動支援アプリ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバーの運用費は、NPOプロジェクトゆうあいが担う。</li> <li>・コンテンツは、松江市の福祉・観光関連部署と協議を行い、追加、充実を図る</li> </ul> <p>【てくてくナビ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降、バージョンアップ及びアンドロイド版の開発を目指す。</li> <li>・次年度以降のアプリの追加開発分については、アプリの有償化による投資費用の改修を検討</li> </ul>	<p>【NWDの効率的な整備方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノード地点の概略の情報として、経緯度を取得可能なビデオレコーダーを活用した取得を行った。</li> </ul>

※計測誤差は、精密計測(公共測量(3級基準点測量))の誤差(標準偏差)を把握した。なお、精密計測の誤差は、10cmと極めて小さい。

※計測誤差の結果を用いた分析方法については、「簡易計測の結果分析の手法と活用法(案)」(別紙3(1))を参照。